

基本方向1

“なにわっ子”の育成に向けて

子どもの「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進します

確かな学力の確立

小中一貫した教育を進めます

- 小・中学校で「連携型」「隣接型」「施設一体型」の小中一貫した教育を推進
- 「施設一体型」小中一貫校を整備

個に応じた学習指導を充実します

- 習熟の程度に応じた少人数授業を小学校3～6年生、中学校1～3年生を対象に実施し、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる指導を充実

言語力をはぐくみます

- 読解・記述・発表・討論といった言語活動を充実
- ボランティアと連携し、学校の図書室を子どもが利用しやすいように整備

自主学習習慣の定着を図ります

- 小学校において放課後の時間帯に「ステップアップタイム」を設け、自主学習を支援
- 家庭での学習に活用できる教材「学びのたしかめ」を配信

社会の変化に対応した教育を進めます

- 小学校で、ネイティブ・スピーカーを活用し、英語に慣れ親しむ授業を実施
- パソコンやインターネットを使って、情報活用能力や情報モラルを育成
- ごみ減量や地球温暖化などの教材を作成し、環境を守る意識を醸成
- 研究者や技術者などによる小学校理科の特別授業を実施

小中一貫した教育

中学校生活がスムーズにスタートできるように、例えば、小5～中1で連続性・一貫性のある学習指導を行ったり、小学生が中学校の授業を体験したりするといった、義務教育9年間を見通した教育を実施します。

(例)

小学生						中学生		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
基礎基本の習得・定着			基礎基本の定着・活用			基礎基本の応用		
さまざまな動きの体得			多くの運動の体験			スポーツに親しむ		

義務教育9年間を通した連続性・一貫性のある教育

学びのたしかめ

家庭学習に活用できる教材「学びのたしかめ」を大阪市教育センターのホームページからダウンロードできます。子どもの“ひとり学び”を支えるツールとして、ぜひご活用ください。



学びのたしかめ 検索

これからの時代にあって、変化する社会でたくましく生きるための学力、すこやかで心豊かに生きるための体と心、郷土「大阪」を愛し、国際社会の中で多様な文化と共生していく態度の三つを併せ持った“なにわっ子”の育成をめざします。

郷土「大阪」を愛する子

なにわっ子

変化する社会で
たくましく生きる子

すこやかで
心豊かな子

豊かな心とすこやかな体の育成

自ら律しつつ、他者とともに生きる力をはぐくみます

- 道徳の時間をはじめ学校の教育活動全体で、子どもに道徳性や人権尊重の精神を育成する教育を推進
- 人との関わり方などを学ぶ「ピア・サポート活動」を実施
- 職場体験などのキャリア教育で、子どもの自立心を育成
- 多様な文化と共生する態度を学ぶ国際理解教育の推進

いじめ・不登校・児童虐待などへの対策

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどを活用した支援を実施
- こども相談センターとの連携による児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応

心身の健全な成長を図ります

- 子どもが運動習慣を確立するように、体育の授業を充実し、部活動への支援を推進
- 栄養のバランスがとれた食事を選ぶようにするための食育の推進と、家庭弁当との選択方式による中学校給食の実施

キャリア教育

子どもたちの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、勤労観・職業観を確立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していけるようキャリア教育を進めています。

学校では、地域や企業などの協力を得て、職場体験や職場見学、社会人講師による職業講話など、さまざまな活動に取り組んでいます。



中学校給食

現在、中学校では昼食提供事業を実施しています。今後は、本市が献立を作成し、学校給食法に基づく、家庭弁当との選択方式による中学校給食の25年度中の全校実施に向けて順次取組を進めます。

